



2021年度年末手当シリーズ② 満額回答獲得に向け連帯のエールを送る!

東日本ユニオン新潟地本は10月27日年末手当満額回答獲得に向けて、JR労働者の組織の垣根を超える連帯を創り出すことを目指し、各労働組合の新潟地方本部へ連帯のエールを送りました。

第1回目の交渉日も決まりましたたかひも本格化してきました。コロナ禍において厳しい経営状況にはありますが、この厳しい状況下でも奮闘する社員の想いに応える回答獲得に向けて職場からJR労働者の想いを結集させていきましょう!



申13号年末手当 第1回交渉決定!

10月29日(金)

「基準内賃金の2.8ヶ月」
獲得に向けて職場の声を結
集させよう!

2021年度年末手当て
4本柱の取り組み展開中!

2021年度年末手当勝利に向けたメッセージ

貴労働組合の日頃からの取り組みに敬意を表します。
共にJR東日本で働く労働者として、2021年度年末手当の勝利に向けた連帯のメッセージを送ります。

東日本ユニオンは2021年度年末手当について、10月21日に経営側に申し入れを行い、「基準内賃金の2.8ヶ月分」を要求に掲げたたたかひを展開しています。

経営側は2020春闘以降、賃金・手当を大幅に削減し、JR労働者の月々の生計費や将来設計への不安を増大させています。一方、私たちJR労働者は新型コロナウイルスの感染拡大が全国的に広がる中、これまでと変わることなく「安全・安定輸送」を確実に遂行してきました。さらに「黒字化の実現」に向けて業績悪化を食い止める努力を積み重ねるなど、厳しい経営環境のもとにあってもJR東日本グループ全体の発展・成長を現場第一線からつくりだしてきました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今日に至っても会社業績は苦戦を強いられていることは事実であり、そのことは何よりも現場で働く私たちJR労働者一人ひとりが肌感覚で感じ取っています。しかし、経営側が「持続的成長」の名のもとで未来への設備投資を行い続ける中において、現場第一線で奮闘している私たちJR労働者の賃金・手当の削減のみに依存した黒字化は認められません。私たち東日本ユニオンは、JR労働者が一丸となってつくりだした成長を背景に、2021年度年末手当において正当な労働対価、成果配分を求め、職場で奮闘するJR労働者が納得できる年末手当の実現にむけて全組合員と奮闘する決意です。

JR労働者の利益を守ることを目的に、貴労働組合との意見交換や連帯に向けたメッセージをご検討いただければ幸いです。2021年度年末手当のたたかひに勝利するために、JR労働者の力を一つに共に奮闘して参りましょう!

貴労働組合の益々の発展と組合員・ご家族の皆さまのご健勝を祈念しまして、2021年度年末手当勝利に向けたメッセージといたします。

2021年 10月吉日
JR東日本労働組合新潟地方本部
執行委員長 星山 圭